

森みつ少年少女文芸賞



森みつ文学碑(昭和57年11月建立)

新冠町郷土資料館前

「北海道賛歌」より

力みちて立つ美しき国

風雪に耐えしものいま

花は地にひらき ひかりを湛え



故

森みつさん(昭和30年頃)

◇詩人・森みつさんについて

大正11年札幌市生まれ、昭和16年ごろから詩作を開始、その後、同人誌「核」や「至上律」に参加、作品を発表。昭和27年に森多賀雄氏との結婚を機に新冠に転居。昭和47年に亡くなるまで詩作し、「北海道賛歌」の作詞者としてもその名を残した。

◇森みつ少年少女文芸賞の創設

没後十年、森みつさんの業績を讃え、詩碑を建立。完成した詩碑は郷土資料館前に設置され、更科源蔵氏など道内の著名文学者も除幕式に参列した。子どもたちの文芸振興を図るため、森みつさんの名を冠した文芸賞が創設された。

森みつ少年少女文芸賞は昭和58年第1回以降、毎年実施しています。

文芸賞各部門の受賞作品は表彰され、受賞作品集に掲載されます。受賞作品集は新冠町レ・コード館図書プラザで閲覧することができます。